

To Club Presidents and Secretaries
in district 2710 (Copy to Members)



Governor's Monthly Letter

from Seiji Onoki

「家族月間」を考える

Governor's Message



国際ロータリー第2710地区
2012～2013年度ガバナー

大木 穂二

GOVERNOR : Seiji Onoki

会長、幹事、そして会員の皆さん。今日は。今回は「家族月間」に因んで所見を述べてみます。

田中RI会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」を、クラブや地区レベルでどの様に捉えればよいのかと質問を受けた時、私は最も身近な所に切り口を求めてから次第に次元を上げてゆくなら、此のテーマの取組みもそれ程大仰なものではないでしょうと答えました。「家族週間」（「家族月間」の前身）を設定したハーバート・ブラウンRI元会長が全く同じく、家庭の平和が地域の平和に繋がり更に国家の平和に繋がるのだから、健全な家庭が平和の核になると説いていることを知り、同じ発想に少々驚きました。ビチャイ・ラタクルRI元会長も、家族は地域社会を構成する一単位だから、私達ロータリアンが家族の平和実現に努力すれば家族の絆が強まり、そうすれば地域社会も強化されると述べています。こうしてみると、平和を支える究極の根幹は、「家族愛」ということになるようです。従って今年度のRIテーマについての思索も、この辺からスタートするのが妥当と言えるでしょう。

「家族愛」、此の基本的人間関係を支える精神的連繫が現代社会では歪になっており、その原因の一つを少子化に求めることが出来ます。子供に厭なことは言わない、

させない、苦勞させない、モノだけでなく愛情もサービスも与えられ過ぎる為に子供に感謝の心がなくなって、支え合い、助け合いの価値観が稀薄な人間を作っているように思えます。結果的に人との関わりが下手で人への思い遣りなど欠けられない人間となり、都市化の進展もあってそうした人間集団が無縁社会を招来してしまいました。一方で親子の絆に恵まれない者が成人して人の子の親になると、過度の自己中心性がすぐに切れる性格となって、不幸な家庭トラブルを惹起する原因となることがあります。

人と人との絆を学ぶ発端は家庭にあります。親の助けがあってこそ、兄弟姉妹の支え合いがあってこそ初めて自立出来るのだと悟るのは家庭の中に於てです。そうして人は一人では生きてゆけないことを学びます。自分の思い通りにならない世の中を生きてゆく為に必要な善意、寛容、忍耐等を、親が妥協を許さない厳しさと揺るぎない愛情でもって子供に教えてくれるのも、又家庭なのです。人は誰でも自分だけの自由を欲しますが、人も又同様に自由を欲します。従ってお互いの自由を認め併存する為には、人々が自から自分の自由を制約することを知らねばなりません、その自己制御を学ぶ最初は矢張り家庭に於てだと思ふのです。

善意と善意で人と人との間柄を良好なものにして行く美学、それがロータリーであると佐藤千寿先生（RID2580パストガバナー）が述べておられますが、そうした間柄こそが自由の限界性を認め合う最高の境地であり、人間としての根源的愛がそれを支えていると言えるのではないのでしょうか。

ロータリーは、家族愛、隣人愛、人類愛が支える倫理運動でありますから、その根底にある家庭と家族を措いては到底考えられない運動であると断言しても、あながち誤りではないような気がします。

- ◆ ガバナーメッセージ（「家族月間」を考える）…………… P1
- ◆ ボール・ハリス語録…………… P2
- ◆ パストガバナーメッセージ
（ロータリー家族月間によせて）…………… P2
- ◆ Eクラブについて～日本ロータリー拡大の尖兵か？…………… P3
- ◆ 本年度の研修…………… P3

- ◆ 広報特集…………… P4
- ◆ ローターアクトクラブの中間報告…………… P5
- ◆ 地区内 RC の会員増減・出席率…………… P6
- ◆ 文庫通信…………… P7
- ◆ 新入会員紹介…………… P7
- ◆ 地区大会予告（下関）…………… P8





ポール・ハリス語録

Collection of Paul P. Harris's Aphorisms



◀ ポール・ハリスとジーン夫人。1917年、愛犬と共に。

私に関する限り、ウォルドーフ・アストリアホテルのシェフたちの調理した私の好物を1人寂しく食べるより、十分なハム・サンドイッチとスノー・ボールさえあれば、私は、むしろ、ハム・サンドイッチとスノー・ボールで生きていきたい、と思います。

(スノー・ボール…アーモンド入りクッキー)

ロータリー家族月間によせて

Past Governor's Message for Family Month

パストガバナー 三次 R.C 前田 茂



大之木年度の呉における地区大会も盛会裡に終えられて、年度後半にむけて一つの区切りとなります。12月はロータリー家族月間に指定されています。ロータリー家族はロータリアンの配偶者、物故会員の配偶者、ロータリアンの子供、孫、その他の親戚、ロータリー財団学友、研究グループ交換メンバー、ロータリー青少年交換学生、ローターアクター、インターアクター、RYLA 参加者、インナー・ホイール（1924年英国マンチェスターで初のロータリアン夫人による組織として創設され、世界102ヶ国10万人の会員を有する）、およびその他の配偶者グループ、世界ネットワーク活動グループというように広範囲に数多くの家族が存在するということでもあります。

2003-04年度RI会長Jonathan B. Majiyagbe氏はロータリー家族を多角評価し、すべてのクラブと地区に「ロータリー家族委員会」の設置を要請されました。2004-05年度RI会長Glenn E. Estess Sr.氏の強調事項でもあり、こうした家族的な心配りや善意の行動は様々な考えを協力的に分ち合い会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展させることにより社会の信用を高め、活力ある豊かなロータリーの発展に繋げることを期待したわけであります。

1982-83年度RI会長 向笠廣次氏はテーマ「世

界中に友情の橋をかけよう」の中で「人類はひとつの大きな家族—すべての人間、すべての国民を含むひとつの大きな家族です。全家族の平和と幸福がなければ、個人の平和も幸福もありません」とすでに30年前にロータリー家族の概念に言及されています。

東日本大震災発生から1年7ヵ月が経過しておりますが、ここでは住み慣れた土地や家を流されてたくさんの身内や家族を失って途方に暮れておられる現状があります。まだまだ完全復興には時間がかかるという、特にこの大災害で若い新世代の震災遺児の方々を思うと心が痛みます。当時想定遺児数1,742名と聞いております。新聞紙上でも「突然帰らなくなった母への思いを綴ったノートに顔をのせて眠る4才の少女のあどけない表情に涙が止まらなかった」と知人の手記が掲載されていました。家族8人のうち7人を失った女子高生もいます。「子供にとって夢を失うことほど悲しいことはない」とその知人は語っています。今そうした遺児に「ロータリー希望の風奨学金」を11地区と日台ロータリー親善会議が支援しています。ロータリアンとしてロータリー家族、そして地球上の大きな家族として絆をもっていかなければならないと強く感じるものがあります。人と人とのつながりが希薄になりつつある現代において、もう一度家族の一員に帰ってそれらの事象を考えてみる必要があると思います。

Eクラブについて ～日本ロータリー 拡大の尖兵か？

eClub! What?

~ Can be Force to Enlarge Rotary in Japan ~

RI第2710地区PDG 天野 肇



2002年家内に1年間だけの約束でRI研修リーダーとしてアナハイムを訪れた時、ビチャイ・ラタクルRI会長エレクトがRI第1号のサイバークラブがデンバーに誕生した話をされました。第5450地区Rotary e-club oneです。その時は通常の例会で顔も合わさない、つまりFACE TO FACEでないクラブがうまくいくはずがないし、ロータリーの質が保てないと疑心にかられました。いまEクラブ推進派となった自分の変貌ぶりに自身驚いております。

1990年代初頭バブル経済が破綻して以降、日本経済は長い低迷期に入りましたが、日本のロータリアン数は、以後減少に次ぐ減少で歯止めがきかない状態に陥っております。その間、インド、韓国、台湾等の国々は減少することなく増加の勢いを保てきました。小泉内閣の時代、景気は小幅といえ上昇に転じましたが、日本のロータリアンの数は反転の兆しすら見せず、2008年リーマンショック以降更なる減少を呈しました。最盛期13万人近かった規模は、遂に9万人を割り、2012年7月末では、8万8千人強、十数年で3万人近いロータリアンを失いました。在籍年数が長いロータリアンにとって目を覆いたくなる惨状ではないでしょうか。

翻って、インターネットを通じてやり取りするEクラブはどうなのでしょう？ RIの期待通り増えているのでしょうか？ 2012年10月現在、世界では92クラブが誕生、その内日本では4クラブが活動中です。まずまずの勢いだと思っております。日本

の4つのEクラブの内、既存のクラブをEクラブに衣替えしたものが2クラブあります。後の1クラブは米山学友と米山奨学生が主体のEクラブです。最も手本となるEクラブは、2650地区の「日本ロータリーEクラブ2650」です。我が地区では、現在福山RCがスポンサーとなり福山ロータリーEクラブ2710*を設立準備中です。仮のホームページを制作し運用しながら、仮クラブを立ち上げる段階まで進みました。

*ホームページは、
<http://rotaryclub2710japan.org/>

2650地区Eクラブ会長杉田氏に指導を乞い、努力をしております。一度アクセスしてみれば幸いです。

日本の経済力が試されている難しい現況下で、経済人や専門職業人が1週間に一度とはいえロータリークラブの例会に出席することは、精神的にも時間的にも厳しいものがあると理解しております。しかし、ロータリーの理念と行動哲学は、職業や業務に欠かすことが出来ない正しい方針を下す際の道標となります。ロータリーのEクラブは、会員を志す人にとって、忙しい時間と時間の隘路を「利己と利他の調和」という精神的豊かさで以って補い埋めてくれるはずです。REALクラブ会員から賞賛を勝ち取れるEクラブをと願いつつ己を叱咤している最中です。

パソコンの画面に映える 友の顔

本年度の研修

Training Programme of the Year

副代表幹事 長行事 義人



大之木ガバナーの重点方針の一つに、ロータリーの学習深化が有ります。

それに則り、研修を担当させていただきました。先ず2月5日（日）に地区研修セミナーを行い、ガバナー補佐さん・地区幹事・地区委員長さんにご参加いただき、RIテーマ・地区運営方針・夢計画

への対応・会員合同研修セミナーについて理解を深めました。

3月18日（日）には会長エレクト&地区チーム研修セミナーを行い、ガバナー補佐さん・会長エレクトさん・地区幹事・地区前現次年度の委員長さんにお集まりいただき、RIテーマ・地区運営方針・地区重点項目・会長エレクト研修・地区チーム研修



を行いました。

5月20日（日）には大之木ガバナー年度がスタートする研修の集大成、地区協議会を行いました。参加者はガバナー補佐さん・地区幹事・地区委員長・クラブ会長／幹事／委員長さんです。第1部でR Iと地区の全体研修を行い、分科会で各部門の大之木年度の部門計画を煮詰めました。その後、第2部で報告会を経て、懇親会を行いました。いわゆる大之木年度の決起集会です。呉の会長の千福をお出ししましたが、本当に沢山飲まれました。

そして7月より大之木年度のスタートです。

8月26日（日）にはテーマ別研修の地区指導者育成セミナーを行い、ガバナー補佐さん・地区幹事・クラブ会長／幹事／増強委員長／財団委員長さんにお集まりいただき、会員増強とR財団の研修を行いました。今度も懇親会はあったのですが、ビールだけで軽くのどを潤しただけで済ませました。

ここまでは内容は少し違えど、今までの定番メニューです。

大之木年度はこの他に島村副代表幹事が担当し

た、地区大会における「職業奉仕を強調した認知度向上」の研修と、私が担当する「会員合同研修セミナー」です。これは地区を3つに分け、各グループでロータリーの基本を学ぼうという企画です。3人のパストガバナーさんによる、ロータリーの歴史・理念・奉仕と実践について学んだ後、新会員さんとのパネルディスカッションを行います。

この号が発行されている頃には、第1回目の山口グループの合同研修は終わっております。

残る広島グループは来年の3月17日（日）、福山グループは3月23日（土）となっております。このセミナーはロータリーの基本に立ち返るセミナーです。新会員のみならず、新会員をご指導する立場の方にもお役にたてると思います。奮ってご参加ください。

また今年度もガバナーのタスクフォースでR L I (ROTARY LEADERSHIP INSTITUTE) も行っております。この1年間は学びを中心とした、「もっとロータリーを！心と行動に」です。沢山の研修にご参加いただき、有難うございます。



広報特集

Special Issue of Public Relations

地区広報委員会委員長 坂田 健治

本年度、地区の広報を担当させて頂いております、坂田でございます。

2010-11、2011-12年度に引き続き、ITを活用した広報のあり方を、柳井ロータリーの廣實前年度広報委員長の協力を頂き、本年度は大島IT担当委員のご努力により実施いたしております。他クラブからの「IT化について」の質問にも丁寧に現状説明したり、ホームページの開設について留意すべき事項等々を、具体的に実例を出して返答したり、わかりやすくそして即効性を持って対応されています。又、本年度はRI戦略計画にある「公共イメージと認知度の向上」が主なる目標で、当地区のIT関係に限っていえば「ホームページ」と「Facebook」の二本立てで情報の発信を行なっています。

さて、ロータリーの広報とは、と原点に戻りますと、「地域社会の人々とロータリーの相互理解を深め、お互いに協力し合って良い社会を作るための活動」です。その為には、一般世間の人はロータリーに対して認識が浅く、いわば「無縁の人」であるこ

とをベースに、地域の人々の側に立って考え、わかりやすく発信することが大切だと思います。

今回の地区大会1日目の田岡久雄先生のロータリーの認知度向上における広報のあり方は、自分達の事をより多くの人々に知ってもらいたいロータリーと、それをニュースとして取り上げるかを決めるメディアの立場、さらにその先にいる読者や視聴者の話題に対する関心の度合い、こういう情報の共有が広報活動には必要であり、「広報活動の双方向性」が重要であることを勉強出来たことは大変有意義でした。又、地区大会は、話題の講師、姜尚中氏のタイミングもさるものながら、中国新聞に2日間続けて掲載して頂き、メンバーの報道関係者の方には感謝しています。

最後に、広報の基本は、日夜現実社会と接触しているロータリアン個人個人の生活姿勢や言動が尊敬に値するものであれば、これ以上優れた広報は無いと説かれた大之木ガバナーの一言につきると思います。



ローターアクトクラブの中間報告

Interim Report of Rotaract Club

2012-13年度地区奉仕プロジェクト委員会 新世代奉仕部会長 上田 功

現在、地区内のローターアクトクラブは6クラブ69名が活躍中で、予定された地区行事（海外研修・RYLAへの参加・ブロック交流会等）は計画通り実行されています。卒会で会員数の減少が一時期みられましたが、新会員の積極的な勧誘が実り、年度当初より6名ほど増加している状況です。また各クラブにおいても、それぞれの特色のある例会、事業をお互いが切磋琢磨しあいながら進めています。

今年の海外研修は、9月15～17日で訪問先を台湾（台北）としました。東日本大震災の際、まっさきに駆けつけてくれた救援部隊、今でも義援金を集め、支援を続けてくれている大切な国に、私達が直接感謝の気持ちを伝えたいという意見がまとまり決定しました。今までの海外研修では相手先地区のガバナーも参加していただき歓迎会が催されます。大之木ガバナーに、行き先選定の経緯を説明しました所、「それなら、私も同行して感謝の気持ちを伝えよう」と言われ、今回の台湾のRCと橋渡しをお願いしました周南西RCの蔵清会長（地区新世代ローターアクト委員長経験者）も一緒に参加していただきました。

現地では、RID3480地区ガバナー DG Charles氏をはじめ地区RAC委員長呉清石氏、東海RCのP Tony会長以下16名、地区RACからDRR Maru地区代表以下7名、東海RACからGary会長以下8名が出迎えていただき歓迎会と交流会を受けました。その夜はRACメンバーは東海RCの会員の方の自宅に分かれてホームステイをしました。翌日は東海RACのメンバーと一緒に市内観光に行き、車

中でも交流が図られました。

東海RCは日本語が公用語となっており、週報も日本語で発行されています。東海RACの会員も数人は日本に留学の経験をされており、日本語での意思疎通が充分に出来き、私達の感謝の気持ちを充分に伝えることが出来たと思います。

今回の研修先決定について、日本に対して各国、各機関がさまざまな形で救援・支援をしていただき、それに対して日本国政府としてどのように感謝の意を伝えたのかの検証を行いました。表向きに報道されていることと実際の事の違いを再認識させられ、一つの事象に対して多眼で見て判断をしなければならぬと考えさせられました。東海RACのメンバーも広島で開催予定の世界平和フォーラム広島に感心が高く、是非に参加したいと申し出があり、広島ので再開出来る事を楽しみにして台湾の地を後にしました。

また、10月20～21日の2710地区大会においては、韓国の3690地区のRACのメンバーも来呉され、地区RACと交流会を持ち地区同士のRACの交流を活発にしていましようと思意見交換がなされました。もちろん世界平和フォーラム広島にも参加を希望されています。RAC同士の交流のスピードは私達RCが考えるよりも早く交流が進んでいきます。フェイスブックのツールが大変役に立っており、私も数人の東海RACのメンバーと情報交換を行っています。今後ともRACの活動の支援をよろしく願ひいたします。

（台湾の方のお名前は、該当する漢字がPCで出ない文字は英語名で表記させていただきました。）





国際ロータリー第2710地区 2012-13年度 74RCの会員増減・出席率 2012年10月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	96.75	96.76	32	32	4	0	0	0
	下 関	4	79.5	85.18	46	50	1	4	0	4
	下関中央	4	79.83	82.03	27	31	5	4	0	4
	下関東	4	80.43	83.23	45	49	0	5	1	4
	下関北	5	90.22	92.84	41	43	0	2	0	2
	下関西	5	87.8	87.82	40	41	1	1	0	1
	油谷湾	5	100	100	12	12	0	0	0	0
計			87.79	89.69	243	258	11	16	1	15
グループ2	萩	4	93.01	90.9	52	52	0	1	1	0
	萩 東	4	100	97.5	24	22	0	0	2	-2
	美 祿	4	75	74.39	26	26	0	1	1	0
	小野田	5	80.53	84.2	42	41	0	1	2	-1
	宇 部	3	85.73	88.85	50	54	2	5	1	4
	宇部東	4	84.68	70.13	19	18	2	0	1	-1
	宇部西	4	88.74	90.33	51	52	1	3	2	1
計			86.81	85.19	264	265	5	11	10	1
グループ3	防 府	4	88.43	87.97	53	54	0	2	1	1
	防府北	3	85.71	82.77	19	21	2	2	0	2
	防府南	4	94.7	90.46	32	33	7	2	1	1
	山 口	5	94.24	95.03	51	56	2	5	0	5
	山口中央	4	100	91.5	7	7	2	0	0	0
	山口県央	5	98.84	98.6	32	35	1	3	0	3
	山口南	3	89.74	86	37	39	4	2	0	2
計			93.09	90.33	231	245	18	16	2	14
グループ4	光	4	100	96.19	47	49	0	2	0	2
	周南西	4	100	100	42	43	3	1	0	1
	徳 山	4	98.3	97.59	44	47	1	5	2	3
	徳山セントラル	4	85.83	88.4	30	30	1	0	0	0
	徳山東	5	96.48	97.54	51	52	0	3	2	1
計			96.12	95.94	214	221	5	11	4	7
グループ5	岩 国	3	84.15	82.88	57	61	0	5	1	4
	岩国中央	4	96.04	92.5	40	40	3	0	0	0
	岩国西	4	86.2	85.39	58	57	2	0	1	-1
	柳井	5	100	100	31	33	2	3	1	2
	柳井西	4	100	99.65	29	29	2	0	0	0
計			93.28	92.08	215	220	9	8	3	5
グループ6	広 島	4	99.58	99.43	110	120	0	10	0	10
	広島安芸	5	97.34	97.89	43	45	3	2	0	2
	広島安佐	4	86.36	87.22	22	21	1	0	1	-1
	広島東	4	96.05	96.89	88	91	5	6	3	3
	広島北	4	100	100	81	80	0	1	2	-1
	広島陵北	5	98.01	98.84	38	41	0	3	0	3
	大 竹	4	87.9	85.97	31	31	0	0	0	0
計			95.03	95.18	413	429	9	22	6	16

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	100	99.63	57	62	7	7	2	5
	広島廿日市	4	91.89	93.69	37	37	1	0	0	0
	広島城南	4	95.36	95.85	50	54	1	4	0	4
	広島南	4	99.7	99.15	86	89	0	3	0	3
	広島東南	4	100	100	85	85	8	3	3	0
	広島西南	4	100	100	61	59	4	0	2	-2
	広島西	4	100	100	79	78	0	2	3	-1
計			98.14	98.33	455	464	21	19	10	9
グループ8	江田島	4	98.61	94.1	18	18	0	0	0	0
	東広島	5	100	99.5	29	30	2	1	0	1
	東広島21	4	80.26	90.13	19	19	4	0	0	0
	呉	4	95.54	93.25	72	73	0	1	0	1
	呉 東	5	98.04	97.33	31	32	0	1	0	1
	呉 南	5	90.86	90.4	53	53	4	0	0	0
	西 条	4	100	100	46	43	1	1	4	-3
計			94.76	94.96	268	268	11	4	4	0
グループ9	広島空港	4	82.29	83.09	24	24	3	0	0	0
	因 島	4	90.38	87.66	24	26	1	2	0	2
	三 原	3	92.7	90.76	63	65	2	3	1	2
	尾 道	3	85.86	85.78	69	70	3	1	0	1
	尾道東	5	89.38	87.39	54	54	1	0	0	0
	瀬戸田	5	90	90	10	10	0	0	0	0
	竹 原	4	91.93	91.2	33	34	4	1	0	1
計			88.93	87.98	277	283	14	7	1	6
グループ10	府 中	4	82.51	85.95	34	34	0	0	0	0
	福 山	4	95.26	96.05	78	78	0	1	1	0
	福山東	5	95.92	90.9	48	49	0	1	0	1
	福山丸之内	4	87.16	86.41	37	37	1	0	0	0
	鞆の浦	4	90.08	90.58	27	28	0	1	0	1
計			90.19	89.98	224	226	1	3	1	2
グループ11	福山赤坂	5	75.5	79	42	43	4	1	0	1
	福山北	4	96.74	99.06	48	48	0	0	0	0
	福山南	4	89.9	88.51	57	60	1	4	1	3
	福山西	5	85.58	89.78	43	41	2	0	2	-2
	松 永	4	89.98	89.56	45	45	1	0	0	0
計			87.54	89.18	235	237	8	5	3	2
グループ12	吉 舎	5	96.25	97.03	16	16	0	0	0	0
	三 次	4	78.65	80.93	40	39	0	1	2	-1
	三次中央	4	92.94	94.7	47	46	6	0	1	-1
	庄 原	4	93.75	94.21	36	36	4	0	0	0
	東 城	5	80.84	81.39	19	20	1	1	0	1
計			88.49	89.65	158	157	11	2	3	-1
2710地区計			91.65	91.42	3197	3273	123	124	48	76

文庫通信
(302号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、

電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会の講演より

新しい年の東アジアをめぐって	姜 尚中	2012 2p (D.2720)
日本のこれから	藤原正彦	2012 13p (D.2790)
松下幸之助・成功の発想と危機克服の心得	川越森雄	2012 2p (D.2620)
いのちの森を未来につなぐ	宮脇 昭	2012 12p (D.2680)
日本再生への道	安倍晋三	2012 16p (D.2740)
今、子どもたちは～私たちにできること、しなければならないこと	水谷 修	2012 9p (D.2590)
真の国際人を目指すために	ピーター・フランク	2012 8p (D.2590)
四国はおもしろい	荒俣 宏	2012 20p (D.2670)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

新 会 員 紹 介

New Member Introduction



伊 藤 真 一
下関RC
2012年10月1日
内科医



浅 井 徹
下関北RC
2012年10月2日
電気通信



新 谷 一 夫
防府RC
2012年10月2日
信用金庫



水津千加司
防府南RC
2012年10月11日
地方銀行



石 川 博 一
山口県央RC
2012年10月30日
農畜産物販売



稲田栄一郎
徳山RC
2012年10月18日
団体保険



田 上 正 史
広島RC
2012年10月23日
電子通信機器製造



佐々木勝
広島東RC
2012年10月3日
広告取扱



山崎健次
広島東RC
2012年10月3日
歯科医



今 枝 仁
広島陵北RC
2012年9月19日
国際弁護士



吉田高宏
広島陵北RC
2012年9月19日
建築・防災設備工事



沖田彰範
広島陵北RC
2012年9月19日
ビルメンテナンス



金 田 秀 子
広島中央RC
2012年11月5日
乳製品製造



田 中 茂
広島城南RC
2012年10月12日
機械器具設置販売



坂 茂 雄
呉RC
2012年10月4日
ガス供給



田頭孝通
因島RC
2012年11月1日
石材加工



有 木 敏 雄
福山RC
2012年11月5日
商業銀行



中山篤雄
鞆の浦RC
2012年10月23日
機械工具販売



石 田 俊 文
東城RC
2012年10月10日
地方銀行

謹んで哀悼の意を表します

福山丸之内RC
故 白 河 一 郎 殿
(産婦人科医)

2012年11月12日ご逝去
(享年54歳)

●ロータリー歴／
広報担当理事(2007-08
年度)、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・
ポール・ハリス・フェロー、準米山功労者





奉仕を通じて平和を

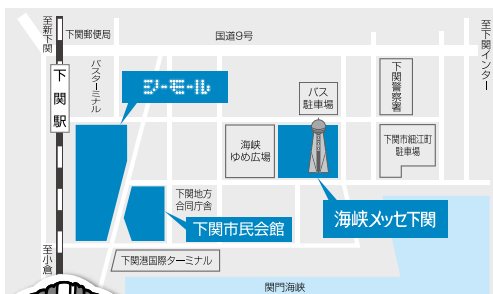


2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区

地区大会



2013年
10月5日(土) 6日(日) 7日(月)



国際ロータリー第2710地区
2013-2014年度 ガバナー

沖田 哲義

ホストクラブ 下関ロータリークラブ

コホストクラブ 長門ロータリークラブ・下関東ロータリークラブ・油谷ロータリークラブ・下関西ロータリークラブ
下関北ロータリークラブ・下関中央ロータリークラブ

1日目 10月5日(土)

大会諸委員会 歓迎昼食会
(シーモール)

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
(シーモール)

会長幹事会 基調講演
(下関市民会館)

日韓交流パーティー
(シーモール)

2日目 10月6日(日)

本会議 記念講演 大会懇親会

山口県国際総合センター 海峡メッセ下関

ミニ観光

3日目 10月7日(月)

記念ゴルフ大会 会場:下関ゴルフ倶楽部

